伊東市教育委員会定例会議事録

１　日　時　令和８年４月２１日（火曜日）
　　午後２時３０分～午後４時２５分
２　場　所　伊東市役所高層棟５階中会議室
３　出席者　教育長　森重　俊幸　　委　員　遠山　泰範
　　委　員　辻　恵　　委　員　北岡　ゆうこ
　　委　員　秋山　佳輝
４　事務局　教 育 部 長　萩原　智世子　　次長兼教育総務課長　杉山　宏生
　　教育指導課長　嶋田　成幸　　幼児教育課長　石井　弘樹
　　生涯学習課長　鈴木　康之
　　教育総務課課長補佐　髙柳　仁美　　主幹　藤原　真紀
５　傍聴希望者　３人
６　議　題
⑴　教議第１号　令和８年度伊東市教育行政の基本方針について
⑵　教議第２号　伊東市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
⑶　教選第１号　伊東市公民館運営審議会委員兼社会教育委員の委嘱について
⑷　教報第１号　令和８年度教育指導課指導の重点について
⑸　教報第２号　伊東市立伊東図書館収集方針について
⑹　教報第３号　伊東市立伊東図書館資料除籍基準について
⑺　令和８年度伊東市教育委員会の組織機構等について
⑻　令和８年度小中学校、幼稚園・保育園一覧表について
⑼　令和８年度児童・生徒・園児数について
⑽　第１回課長会議（「未来を拓く」マネジメントディスカッション）の報告
⑾　常任福祉文教委員会協議会の報告について（令和８年４月１７日招集）
⑿　各課報告
７　会議の経過
⑴　秘密会の確認
⑵　教育長報告
　　４月　１日　教育長拝命、辞令交付、政策会議、校長会
　　２日　互助・東豆教育用品・教弘来庁
　　３日　園長・校長会、教育委員懇談
　　５日　ＪＦＬカップ来賓挨拶
　　６日　静東教育事務所所長・副所長来庁、篠原議員来庁
　　７日　東部社会教育振興協議会来庁、伊豆伊東高校入学式、宇佐美学園副園長来庁、池田２０世紀美術館館長来庁
　　８日　高校再編に係る伝達・県教育長会
　　９日　伊東文化協会来庁、伊東市スポーツ協会来庁、南小学校入学

式

１０日　県教育長表敬訪問、土屋氏来庁

１２日　第４８回オール伊豆社会人ソフトボール大会

１３日　課長会議（企画、上下水道、観光経済、健康福祉、建設、危機管理、総務）、教職員組合東豆支部役員来庁

１４日　課長会議（教育、議会事務局、市民）、教育長会・東部市町教育長協議会

１５日　南中学校訪問、市立幼稚園ＰＴＡ連絡会議

１６日　教頭会

１７日　こども新聞贈呈式、幼稚園教諭採用試験委員会

１９日　山頭火祭りと郷土の歴史を知る週間

２０日　功労者・元議員との懇談会

２１日　教育委員会定例会

⑶　各委員報告

各委員から、市内小・中学校の入学式への出席報告があった。

・　宇佐美中学校・大池小学校

落ち着いた雰囲気の入学式であった。

・　北中学校・八幡野小学校

北中学校では新入生８名。閉校を控える中、「できることを楽しもう」という生徒・ＰＴＡの姿勢が印象的だった。八幡野小学校では温かく和やかな入学式となった。

・　富戸小学校・対島中学校

富戸小学校では少人数ならではの児童との近い関わりが見られた。対島中学校では緊張しながらも入学式に臨む生徒の姿が見られた。

・　伊東小学校・南中学校

小学校１年生と中学校１年生の成長段階の違いを実感し、それぞれの学校生活への期待を感じた。

全体として、児童生徒の初々しい姿や成長への期待が共有された。

⑷　教議第１号　令和８年度伊東市教育行政の基本方針について

（教育総務課長　説明）

本年度は、教育長不在の中で前年度からの調整が十分に進められなかったことから、基本的には軽微な変更とした。今後、市長・教育長の交代を踏まえ、上位構想である教育大綱の更新についても検討する。

主な重点事項は以下のとおり。

ア　夢と希望をもつ子どもの育成

・　知識・技能の習得

・　多様な他者との協働による課題解決

・　思考力・判断力・表現力の育成

・　「学びに向かう力」の向上

イ　夢と希望を育む園・学校の基盤整備

・　北中学校の再編

・　より望ましい教育環境の整備

ウ　危機管理・防災教育

・　園・学校の危機管理体制の徹底

・　発達段階に応じた防災教育

エ　生涯学習の充実

・　図書館協議会の設置

・　司書の適正配置

・　新図書館整備の市民を交えた再考

・　スポーツ推進

・　文化団体との連携

・　市民の学習機会の創出

オ　目的指向の行財政運営

・　社会変化に対応した教育行政

・　職員の人材育成

委員からは、伊東市が実施している教育施策や子育て支援等について、市民に十分伝わっていない面があるため、積極的な情報発信を求める意見があった。事務局から、取り組みの「見せ方」を工夫し、市民に理解してもらえる情報発信を進めるとの回答があった。

また、児童生徒数が減少する中で、多様な他者と協働して課題を解決する力を育むことの重要性について意見があった。

防災教育については、災害がいつ発生してもおかしくない状況を踏まえ、学校防災研修会等での情報共有を含め、重点的に取り組むよう要望があった。教育長からは、子どもの命を守ることを教育活動以前の最大の命題として、学校関係者・関係団体と連携して取り組むとの発言があった。

審議の結果、教議第１号は原案のとおり決定した。

⑸　教議第２号　伊東市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

（幼児教育課長　説明）

「伊東市幼児施設連絡調整協議会」が、教育・保育施設の多様化に対応するため「伊東市教育・保育施設連絡調整協議会」に名称変更されたことに伴い、教育委員会事務局組織規則の関係規定を改正し、施行日は公布の日からとする。

審議の結果、教議第２号は原案のとおり決定した。

⑹　教選第１号　伊東市公民館運営審議会委員兼社会教育委員の委嘱について

（生涯学習課長　説明）

委員の人事異動に伴い、２人を新たに委嘱するもの。

・　校長会推薦委員：池小学校校長の変更に伴う委員変更

・　静岡県立伊豆伊東高等学校校長の変更に伴う委員変更
・　任期：前任者の残任期間である令和９年３月３１日まで

審議の結果、教選第１号は原案のとおり決定した。

⑺　教報第１号　令和８年度教育指導課指導の重点について

（教育指導課長　説明）

目指す園・学校像を引き続き「夢と希望を育む園・学校」とし、以下を重点として取り組む。

・　主体的・対話的で深い学びの推進
・　個の多様性・価値観の尊重
・　地域と共にある園・学校づくり
・　特別支援教育体制の整備
・　教育ＤＸの推進
・　危機管理体制の徹底

委員から、子どもが不安や困難に打ち克つ力を育てることだけでなく、それが難しい時にも安心して過ごせる「居場所」を確保することが重要との意見があった。

教育指導課から、学校・教室を安心安全な場とすることを基本に、別室や外部機関とも連携して支援していくとの説明があった。

⑻　教報第２号　伊東市立伊東図書館収集方針について

（生涯学習課長　説明）

図書館を取り巻く環境の変化を踏まえ、資料収集方針を新たに整備。

主な内容は、

・　図書館法・伊東市立図書館条例を根拠として明確化
・　「図書館の自由に関する宣言」を基本原則として明記
・　公共性・中立性・専門性の明確化
・　外部からの働きかけによる収集制限を行わないことを明記
・　参考・一般・児童・ヤングアダルト・福祉・外国語資料等に分類
・　漫画・雑誌、専門学術書、学習参考書等は原則収集しない
・　外国語資料を多文化サービスとして位置付け
・　寄贈資料の取扱いを明確化

委員から、ふるさと教室や夢チャレンジクラブ等と関連させ、子どもたちが伊東の歴史・文化・自然を調べられる郷土資料を充実させてほしいとの意見があり、生涯学習課から対応を進めるとの回答があった。

⑼　教報第３号　伊東市立伊東図書館資料除籍基準について

（生涯学習課長　説明）

図書館資料の適正な管理を目的として、除籍基準を改定。

主な除籍対象は、

・　汚損・破損資料
・　不要・内容が古くなった資料、複本等

・　亡失資料
・　他機関への保管転換資料

一方、再入手が困難な郷土資料や代替のない資料については、除籍対象外とする。

資料の新鮮さ・質を維持しながら、郷土資料等の文化的価値を保護する考え方が示された。

⑽　令和８年度伊東市教育委員会の組織機構等について

（教育部長　説明）

本年度の基本組織に変更はなく、

・　教育総務課
・　教育指導課
・　幼児教育課
・　生涯学習課

の体制で運営する。

令和９年度に市長部局で大規模な機構改革が予定されており、教育部についても、課をまたいだ横断的な連携を強化する観点から、年度途中を目途に組織の見直しを検討する。

⑾　令和８年度小中学校、幼稚園・保育園一覧表について

（教育指導課長・幼児教育課長　説明）

新任校長等（大池小学校校長、富戸小学校校長、池小学校校長、八幡野小学校教頭）について報告。

また、幼稚園・保育園等の施設数について報告があった。

⑿　令和８年度児童・生徒・園児数について

（教育指導課長・幼児教育課長　説明）

児童生徒数は減少傾向にあり、池小学校では児童数の減少により２・３年生が複式学級となった。

小・中学校ともに児童生徒数、学級数、教職員数が減少傾向にある。

園児数については、

・　保育園等：７０８人
・　幼稚園：２０７人
・　認定こども園：７３人

との報告があった。

⒀　第１回課長会議（「未来を拓く」マネジメントディスカッション）の報告

（教育総務課長・教育指導課長・幼児教育課長・生涯学習課長　説明）

教育部の目標を「一人ひとりが生き生きと活躍できる教育環境を作ります」とし、各課から主要施策を報告。

①　教育総務課

・　学校施設の改修・修繕
・　校舎照明のＬＥＤ化

・　電子錠等による防犯対策
・　大池小学校屋上防水
・　南中学校校地内舗装
・　体育館空調設置の検討
・　校務用ＰＣの更新
・　北中学校閉校・再編に向けた地域協議

②　教育指導課
・　いじめ・不登校対策
・　別室登校相談員の配置
・　ＳＳＷ・スクールカウンセラーとの連携
・　特別支援教育の充実
・　教育支援ソフトの活用
・　部活動の地域展開

部活動については、令和８～１３年度を改革実行期間とし、令和９年度夏の中体連以降、市内での地域展開を順次進める方針が示された。

③　幼児教育課
・　多様な保育ニーズへの対応
・　職員の質向上・人材確保
・　幼稚園・保育園の再編計画
・　宇佐美地区の幼保連携型認定こども園整備
・　令和１０年度の開園を目標に施設設計
・　宇佐美保育園の耐震性への対応

④　生涯学習課
・　新図書館整備方針の検討
・　現図書館サービスの維持・向上
・　コミュニティセンター等の施設整備
・　学習環境・子どもの居場所づくり
・　部活動地域展開に伴う地域クラブ認定制度
・　スポーツ・文化団体との連携、指導者確保

各課からの報告後、委員からの質疑があり、各課から次のとおり説明があった。

・　宇佐美保育園の防災対策

令和１０年度の認定こども園開園まで既存施設を使用することから、その間の災害対策や避難訓練を十分に行うよう要望があった。

教育長から、施設の強度調査結果を踏まえ、園長・職員と脆弱箇所を共有し、保育室の移動や避難経路の見直し等を検討しているとの説明があった。今後も園と連携して避難対策を進める。

・　部活動の地域展開

保護者・生徒への丁寧な情報提供に加え、個別相談の窓口を明確にすること、

他地域の先進事例を収集すること、地域クラブの指導者の資格・適性等について十分確認することが要望された。

教育指導課から、部活動通信等で問い合わせ先を分かりやすく周知するとともに、他地域の事例を調査し、生涯学習課と連携して地域クラブの認定・指導者の確認を進めるとの回答があった。

・　子どものスポーツ機会

委員から、サッカーや野球等のイベントを通じて、子どもが多様なスポーツに触れる機会を増やすことの重要性について報告・意見があった。

教育指導課から、小学校段階から様々な運動に親しみ、運動を好きになることが生涯スポーツにつながるため、関連する取組や情報を子どもたちに提供していくとの説明があった。

⑭　常任福祉文教委員会協議会の報告について（令和８年４月１７日招集）

（教育総務課長・生涯学習課長　説明）

・　伊東市立小中学校校舎照明設備ＬＥＤ化工事について
・　伊東市立南中学校敷地内アスファルト舗装改修工事について
・　宇佐美コニュニティーセンター屋上防水及び外壁改修工事について
・　かどの球場照明設備ＬＥＤ化工事について

⑮　各課報告

①　教育総務課　なし
②　幼児教育課　なし
③　生涯学習課　なし
④　教育指導課　生徒指導報告（秘密会）

８　今後の日程

５月定例会は、５月２５日（月）午後２時３０分から、５階中会議室で開催することを確認した。

６月定例会については協議の結果、６月２５日（木）午後２時３０分に開催することとなった。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長　　森重　俊幸

委　員　　遠山　泰範

書　記　　藤原　真紀